【 ハイブリッドシリーズ 】

免荷式リフト popo®

なになに？
ハイブリッド・リハビリテーション!!
Hybrid Rehabilitation

企画構成：冨岡勇貴／理学療法科

今回は免荷式リフトPOPOについてご紹介します。当院では主に脳卒中、整形疾患、廃用症候群の方を対象に足のリハビリに使用します。

【 免荷式リフトPOPOとは？ 】

・リフト機能で安全に立ち上がり、免荷機能で負担を軽減して歩行することができます。
・転倒するリスクを軽減し、患者様もスタッフも安心して歩行練習をすることができます。
・免荷量を調整することができるので、患者様に合わせた負荷で意欲的に歩行練習をすることが出来ます。

【 操作方法と特徴 】

1.ハーネスを身体に装着し、POPOのフックにかけます。
2.リフトボタンで体重の免荷量を操作します。

▶

【 使う時期と目的 】

| 急性期 | 早期離床のツールとして活用します。
POPOは介助状態が重度であっても、リフト機能で身体を吊り上げるので、介助負担が軽減し、早期離床につなげやすくなります。

| 回復期 | 積極的なリハビリのツールとして活用します。
病棟での立位練習や歩行練習に活用し、練習の量も質も上げることができます。また痛みのある患者様も免荷での歩行練習からはじめる事で不安が軽減し、リハビリ意欲を高めることができます。

| 維持期 | 活動量の維持・拡大のツールとして活用します。
寝たきりを防止し、運動量の増大に活用します。

□ 症例紹介《Case Report》 免荷式リフトPOPOの使用経験 ～荷重時痛に対して早期歩行が得られた一例～

【方法】
転落によって、左腸骨翼骨折、左肩腱板損傷を受傷、歩行時に荷重時痛を認めた症例（70代男性）にPOPO介入前後の疼痛、歩行距離、機能的自立度評価、患者感想を調査した。

【結果】
痛みの改善を認め、歩行距離は延長した。機能的自立度評価は改善し、歩行での日常生活が可能となった。感想は「痛みが減り、歩く自信がついた」であった。

【考察】
即時効果として歩行時の疼痛の軽減を認めた。免荷での歩行練習により恐怖心を軽減し、歩行の運動学習が可能となった。また本人の自信へとつながり、歩行練習に対する意欲向上が得られたことも、早期歩行獲得の要因と考えられた。